

8. 当院における学童以降の食物アレルギー児の検討

研究の概要

本研究は、2015年1月から2018年12月までに当院を受診された学童以降の鶏卵アレルギーの経過について検討します。

研究の目的

鶏卵アレルギーを主訴に見えるこどもさんの多くについて、経口負荷試験を行うことで、卵をある程度は食べられることが確認できました。これをデータとして示すことで熊本県内ではまだ検査可能施設が少ないため検査を受けることが少し難しい、経口食物負荷試験の普及を訴えることができることを期待しています。

本研究への参加について

本事業への参加は、患者さんの自由な意思に基づくものであり、参加されたくない場合は、データ登録を拒否していただくことができます。その場合は、病院の担当医または下記問合せ先に御連絡ください。なお、登録を拒否されたことで、日常の診療などにおいて患者さんが不利益を被ることは一切ございません。

調査する内容

食物アレルギーのために当院を受診された患者さんで、鶏卵を除去されていた方が調査対象となります。性別、年齢、発症時期、合併症（喘息、アトピー性皮膚炎）、既往歴（負荷試験、アナフィラキシー）、身体所見、血液検査データ等を調べます。患者さんの氏名・住所・生年月日など個人を特定する情報は調査しません。データは過去のカルテから調べるだけですので、新たな情報の聴取や採取はありません。

対象となる患者さんの利益・不利益

この研究は、患者さんのデータをカルテなどから調べるだけですので、対象となる患者さんに利益及び不利益はありません。データの解析においても、先にも述べたように、個人情報には調査しないので、個人情報が漏洩する心配はありません。

研究成果の発表

調査した患者さんのデータは、集団として分析し、学会や論文で発表します。個人情報は調査しないので、個人が特定されることはありません。

当院の研究責任者

小児科 緒方美佳

問い合わせ先

小児科 緒方美佳

TEL: 096-353-6501